

## 平成28年度に向けた政策創造部の施策の基本方針

「一億総活躍社会」の実現を目指し、「徳島ならではの」地方創生を強力に推進

## 徳島の知恵で活力ある「まち」づくり

## ■「とくしま回帰」の流れを加速

- 相談から移住まで「切れ目ない」移住交流施策の推進
- 「地方創生」を加速する市町村への支援
- サテライトオフィスプロジェクトの推進
- 奨学金返還支援制度の推進
- 国が制度構築を進める「企業版ふるさと納税制度」の活用

とくしま移住交流  
促進センター

## ■地方創生「先導モデル」の創出

- 国の「地方創生特区」の指定に向け、「徳島版地方創生特区」の推進
- 金融機関との連携による「地域資源」を活用した創業支援



無人航空機(ドローン)

## ■個性豊かで魅力ある地域づくりの推進

- 過疎対策の計画的な推進
- 多様な主体と連携した集落再生モデルの構築

## 徳島の魅力向上と情報発信力強化

## ■「vs東京」新たなステージへの飛躍

- 国際短編映画祭をはじめ「徳島ならではの」強みに磨きをかけた戦略的な情報発信

## ■「すだちくん」による情報発信

- とくしま創生サポーター「すだちくん」を活用した積極的な情報発信

## ■世界遺産登録へ果敢にチャレンジ

- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産暫定一覧表掲載への挑戦



阿波遍路道 鶴林寺道

- 「鳴門の渦潮」世界遺産登録に向けた学術調査と普及啓発



鳴門の渦潮

## ■徳島ファンの拡大

- 東京・大阪・名古屋を核としたネットワークの強化
- ふるさと納税制度を活用した魅力発信

## 徳島が日本の課題解決を先導

## ■徳島発の政策提言

- 課題解決先進県・徳島として機動的・戦略的な政策提言の実施

## ■広域行政の着実な推進

- 全国知事会等を通じた政策提言実施
- 徳島が「関西広域連合」を先導し、構成府縣市と緊密に連携しながら広域課題へ対応

## ■徳島の強みICTの更なる活用

- 県民の利便性向上に向けたマイナンバー利活用推進
- オープンデータの利活用推進

## ■地方創生を担う人材の育成

- 高等教育機関との連携強化による若者定着の促進
- 科学技術の未来を切り拓く人材育成の推進

中学生への科学技術  
体感講座

# 平成28年度に向けた南部総合県民局の施策の基本方針

## 現状・課題

○切迫する南海トラフ巨大地震 ○南部圏域の過疎高齢化、人口減少問題 ○基幹産業である農林水産業の活性化



## 1 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

### 昭和南海地震から学ぶ防災減災対策の推進

- 昭和南海地震70年を踏まえた防災意識の向上
- 津波避難訓練やサバイバルキャンプによる災害対応力の強化



自衛隊ヘリ搬送訓練

### 安心子育ての推進

- 災害時における安全安心な子育て環境の推進
- シニアによる子育て支援活動の推進



災害研修会

## 2 農林水産業による地域づくり

### もうかる農林水産業の推進

- きゅうりタウン構想の推進
- 木頭ゆずのEUに向けた輸出体制の強化
- 「海部の魚」のブランド化



きゅうりタウン構想

### 農林水産業への就業促進

- 担い手確保のための新たな移住就農モデルの構築
- 「山武者」による林業の魅力発信
- 県南漁業への就業促進



中学生の林業体験



木頭ゆず

## 3 多くの人で賑わう魅力的な地域づくり

### 圏域の自然とその恵みの体感による観光振興

- 「四国の右下」の体験型観光を支える組織・人づくり
- スポーツツーリズムの推進やトップアスリートを活用した魅力発信



南阿波よくばり体験

## 4 自然とともに歩む地域づくり

### 美しく豊かな自然環境の保全と利活用

- 南部圏域の豊かな自然を満喫するイベント等の実施
- 「千年サンゴ」の保護活動の強化と情報発信による交流人口拡大



千年サンゴ

## 5 県南への回帰を実現する地域づくり

### 圏域が一体となった移住・定住の本格展開

- NPO法人や企業・大学と協働した創業者人材の育成と誘致
- 移住希望者の目的別にターゲットを絞った戦略的な情報発信



「四国の右下」若者創生シンポジウム

### サテライトオフィスの戦略的な誘致拡大

- 「体験施設」を活用した圏域内他地域への誘致拡大
- 大学との連携による「インターン合宿」や国事業を活用したプログラマー養成など、未来の地元採用人材の育成



サテライトオフィス(あわえ)

### 大学を活用した地域活性化の推進

- 若者の感性や高等教育機関の知見を活かしたフィールドワークの拡大

# 平成28年度に向けた西部総合県民局の施策の基本方針

「西部圏域振興計画(第3期)」に基づき、産学官金労言が六位一体となって施策を推進

## 1 魅力ある観光・交流の拡大

- 東京オリンピックを見据え、外国へのPR活動や情報発信のさらなる強化を推進
- 戦略的な観光地経営・人材育成に取り組むため、市町や関係機関と連携し、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の取組みを推進



## 2 豊かな地域環境の創造

- 女性や子どもも登りやすい、日本一安全・安心な山「剣山」を目指した取組みを推進
- 日本の宝「剣山」の美しく豊かな自然を次世代に継承するための取組みを推進



## 3 安全・安心な地域社会の形成

- 地域の防災力向上のため、災害発生時の活動拠点となる西部健康防災公園を活用し、市町や関係機関と連携した訓練等を実施
- 土砂災害や大雪等による集落の孤立化対策及び若年層への防災意識啓発を推進



## 4 健やかに暮らせる地域づくり

- 糖尿病死亡率低減を図るため、平時の健康増進拠点となる西部健康防災公園を活用した運動習慣の定着や食生活の改善などの取組みを実施
- 自殺予防を推進するため、市町等と連携し、自殺ハイリスク者に対する取組みを実施



## 5 活力ある地域経済の振興

- 定住・移住を促進するため、市町・大学・商工団体等と連携し、地域活性化を推進
- 中山間地域の耕作放棄地対策や障がい者の自立促進のため、農業と福祉が連携した取組みを支援

